

競技・審判上の注意

〈全般的事項〉

1. 今大会は、公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程により行います。
2. 審判は派遣審判員の協力を得て、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは準決勝からつけるものとし、その他の試合においては原則つけません。
3. 試合中のけが、病気に対して応急処置はいたしますが、その後は自己責任となります。
4. 試合中のシャトルの銘柄の変更は認めません。
5. インターバル時にアドバイスを行う場所は、競技区域内に限定し次の条件に従ってください。
 - (1) どちらのサイドも2人まで競技区域に入ることが認められていますが、その際には、エンドを替えた後に入り、主審が「(コート番号) 20秒」とコールしたらコートから離れてください。
 - (2) コートサイドにコーチ席を設けます。インプレーでのアドバイスは厳禁です。エンドの交替ごとに選手とともにコーチもエンドを替えてください。(団体戦の場合はコーチのみ移動)
6. 試合中の選手の水分補給については、必ず主審の許可をとってください。
また以下のことに注意してください。
 - (1) 団体戦のとき、当該選手はベンチまたはその付近での水分補給は認めません。
 - (2) 容器は倒れても水が漏れないペットボトル等を使用し、指定した入れ物に入れてください。
 - (3) 体力回復を図っていると思われる中断は認めません。
 - (4) フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
 - (5) 氷嚢の使用はインターバル時のみ認めます。
7. 選手は、試合の終了時に、主審(サービスジャッジ)とも握手をするよう心がけてください。
8. 進行状況によって連続して試合を行うことがあります。その場合は最低15分の空き時間を与えます。
9. 試合における服装は大会運営規程第23条を遵守してください。
その際、背面中央、漢字で明瞭に判断できる色で書かれた都道府県名のみを、横30cm、縦15cmの範囲に明示してください。
10. 競技区域での携帯電話の使用は禁止します。また、会場内での携帯電話はマナーモードにしておいてください。
11. その他は代表者会議における打ち合わせ事項に準じます。
12. 団体戦、個人戦は次の通り行います。

〈団体戦の場合〉

- (1) 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は代表者会議をもって受付終了とし、以後の変更は一切認めません。
- (2) オーダー用紙の提出は、最初の対抗戦は8:50までに行います。その後はアナウンスに従ってオーダー提出所に提出してください。また、オーダー用紙の提出がない場合は棄権とみなします。
- (3) 試合開始前の練習時間は、対戦チーム同士の挨拶の後、各試合トスの後2分です。
- (4) 初戦は3試合すべてを行います。このとき勝敗決定後の3試合目のメンバーチェンジを認めます。以後は勝敗決定後の試合は打ち切りとします。また、進行状況に応じて、1対抗戦を並行して行うことがあります。アナウンスには十分気を付けてください。

〈個人戦の場合〉

- (1) 選手(プレーヤー)の変更はいかなる場合も認められません。
- (2) 試合開始前の練習時間は、挨拶の後、主審の指示で同時に2分以内です。シングルス試合開始前の練習は対戦相手と行うものとします。